

● 永生病院 夏祭り開催

平成29年8月26日(土)

8月26日(土)に毎年恒例の夏祭りを行いました。朝から昼過ぎまでは天気不安定で、準備をしながら空ばかり眺めていましたが、夕方には快晴となり一同「ホッ」としました。毎年トリを飾ってくれる忠八太鼓に加え、今年初参加のよさこい踊り『えんむすび』という琴平・まんのうを拠点に活動しているグループなどが、それぞれのパフォーマンスで観客を魅了しました。また、通所介護げんきの郷の利用者様の太鼓や、ひまわり託児所の子ども達によるダンスなど盛大な夏祭りとなりました。来年もよりレベルアップした夏祭りになりたいと思います。

企画委員会・ハッピー会



● 第59回全日本病院学会in石川に参加

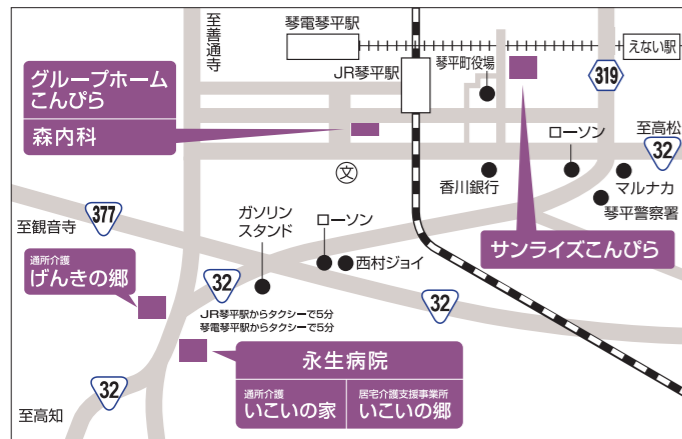
平成29年9月9日(土)・10日(日)



石川県立音楽堂をメインに開催された、第59回全日本病院学会in石川に参加してきました。当院から講演発表として一般病棟より「多職種でターミナルケアに取り組んで「私は、しあわせものや～ありがとな」と、ポスター発表として感染管理チームより「感染防止対策加算Ⅱ施設として、合同カンファレンスに参加し得た成果」の2演題を発表してきました。発表後には、「とっても素敵な取り組みですね」「職員同士での連携がとても素晴らしいですね」「加算Ⅱの施設でここまでのデータを集計し、結果として評価しているのはすごいですね」といった感想を頂きました。今後もこれに満足せず、この学会で学んだことを生かしより良い医療・介護を目指していきます。

【編集後記】

猛暑の夏もいつの間にか過ぎ、朝窓を開けた時に流れ込む空気を冷たく感じる季節になりました。秋の空は高く澄んでいて見上げてみると日常を忘れ、ふと懐かしい人を思い出したりします。今回の秋号も、様々な行事や役立つ情報などをお届けしていますので是非ご一読ください。これからの季節、気温の変化に体が慣れず体調を崩しがちです、どうぞ皆様ご自愛くださいませ。



永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

医療法人 圭良会

- 永生病院 香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
- 森内科 香川県仲多度郡琴平町167 Tel 0877-73-4188
- グループホームこんびら (認知症対応型共同生活介護) Tel 0877-73-0811
- サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護) 香川県仲多度郡琴平町権井字池田451番地1 Tel 0877-58-8600

永生病院広報誌「ゆるめき」第49号
 発行元：医療法人 圭良会 永生病院
 編集者：医療サービス改善委員会
 住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
 TEL:0877-73-3300
 FAX:0877-73-3202
 永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
 eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
 発行年月日：平成29年10月11日

永 生 病 院 だ よ り

季刊 2017 秋号 vol. 49

ゆるめき

【理事長のあいさつ】
 地域密着型病院の役割

【うまげな話】
 「ミネラルについて ~マグネシウムの効能」

【委員会活動紹介】
 「防災対策委員会」

【健康ひろば】
 「心房細動について」

【行事報告&お知らせ】
 ふれあい看護体験
 永生病院 夏祭り開催
 第59回全日本病院学会in石川に参加
 【編集後記】

■ 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■ 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
 患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
 医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■ 患者の権利章典

- 1. 医療を受ける権利
- 2. 自己決定権
- 3. 知る権利
- 4. プライバシーに関する権利
- 5. 学習する権利
- 6. 参加と協同



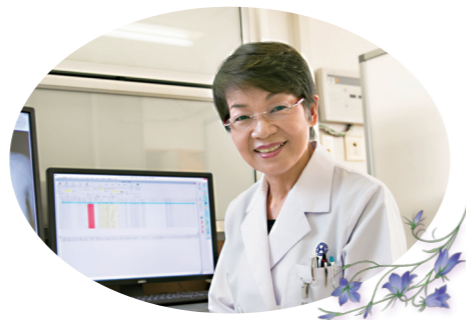
KEIRYOKAI

地域密着型病院の役割

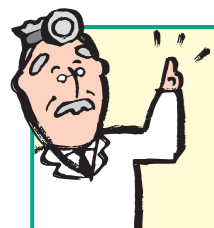
世界中いろいろなところで、緊迫した状況がみられており、戦争の勃発の不安あり、また、エネルギー問題の将来像への不安など、気の抜けない情勢が続いています。今年9月金沢市で開催された第59回全日本病院学会へ参加いたしました。国が平成37(2025)年を目途に目指している地域包括ケアの構築に対する意識の高まりなのか、今回のテーマは、「大変革前夜に挑め!今こそ生きるをデザインせよ」という興味ある内容でした。地域包括ケアとは、「高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるような地域における包括的な支援・サービス提供体制」を構築しようというもので、数年前より、「医療と介護の連携」がいわれてきましたが、さらに、「医療と介護の融合」となり、その関係はより密着しています。そうした状況下で、地域の中小病院の果たす役割を、さらに広い視野でとらえようというものです。生命の危機的状況を脱しても、複数の慢性疾患をもつ高齢者が退院までの体力回復にむけて、退院後の生活の場を想定し、医療サービスを提供せねばなりません。まさに退院後のその人らしい「生きる」を

デザインし、その目標に向かって医療・介護の多職種が連携し、場合によってはとりまく家族、地域にもかかわっていく必要もでてきます。シンポジウムでは、もっと視野をひろげた、医療・介護の枠をこえて展開されている事例や、医療を国際展開されている事例なども紹介され、少子高齢化が決して日本だけのことではないと紹介されました。

医療の場で従事しているものは、介護のことも熟知し、介護の場で従事しているものは、医療のことも熟知する必要があります。互いに磨きかけあって、良質な医療・介護サービスを提供できるよう努めてまいります。



理事長 森 伊津子



健康は毎日の食事から...

うまげな話

【第21回】～ミネラルについて～ マグネシウムの効能

ビタミンと同じ働き微量栄養素の「ミネラル」は、16種類もあります。その中でも今回は「マグネシウム」についてご紹介したいと思います!

ミネラルとは...

骨や歯など体の構成成分になる、体液のバランスを調整する、酵素の成分になる、神経や筋肉の動きを調整するなどの働きがあります。

マグネシウムの主な効果効能

骨格の形成・筋肉の収縮・循環器病の予防・神経の興奮を鎮静・酵素の活性化を促す

1日あたりの摂取目安量	男性	女性
成人	340mg	270mg
60歳以上	350mg	290mg

マグネシウムを多く含む代表的な食品とは...

マグネシウムを多く含む食品	含有量(mg)/100g中	マグネシウムを多く含む食品	含有量(mg)/100g中
乾燥わかめ	1,100	インスタントコーヒー(糖)	410
刻みごんぶ	720	ごま	360
干しひじき	620	アーモンド	310
ココアパウダー	440	素干し桜エビ	310



乾燥わかめが主役!! たっぶりマグネシウム!

うまげな料理カード あかめ入りヘルシー千切りミ 2人分

材料 乾燥わかめ/15g 素干し桜エビ/10g 玉ねぎ/1/2個
ねぎ/少々
☆薄力粉/1カップ(200g) ☆卵/1ヶ ☆水/100~150cc
☆しょうゆ/小さじ1杯 ☆塩/小さじ1/2杯 ごま油/少々

作り方 ①乾燥わかめは水で戻し、手で絞り水気を切っておく。わかめはザク切りしておく。
②玉ねぎは薄切り、ねぎは小口切りにする。
③ボウルに☆の材料を入れ混ぜ合わせる。そこに①のわかめ、②の玉ねぎ・ねぎと桜エビを加える。
④フライパンにごま油をひき、丸く生地を入れ両面焼き色がつくまで焼くとできあがり!

健康にいい食材を
バランスよく
食べましょう!



栄養科

委員会活動紹介 9

防災対策委員会

近年、災害による甚大な被害が各地で起きています。そして、紀伊半島沖から四国沖を震源とする南海地震が今後30年間に発生する確率は60%と予測されています。防災対策委員会では、火災・土砂災害・震災など起こりうる可能性を想定し、万が一災害が発生した場合でも、その被害を最小限にとどめることを目的としています。

《取り組み内容》

- 緊急連絡網を整備し、責任者からの指示が正確に伝達され、協力体制が整えられるようにしています。
- 院内巡視を行い、避難経路・危険箇所などの周知をしています。
- 年4回、防災訓練を実施し、職員全員が自分の役割を理解し行動できるように教育・訓練しています。
- 医療材料や医薬品、水や食料等の備蓄・保管をしています



平成29年9月20日
ベッドから階段まで1連の訓練を実施

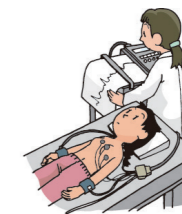
今後も様々な災害を想定した訓練を実施し、地域の方々から信頼して頂ける医療施設でありたいと思います。

体の安心情報板 健康ひろば 第33回 テーマ 「心房細動について」

心房細動は不整脈のなかでも一般的な不整脈であり、60歳を超えるとその有病率が増え、80歳では10人に1人はもっていると言われていています。高齢化がすすんでいる現在では、さらに多いと予想されます。

普段は、心房と心室が規則正しく電気興奮を伝えて脈を打っています。しかし、心房細動は心房という部屋がけいれんのように震えてしまい、規則正しく脈を打つことができなくなり、その影響で血液がよどんで血栓が出来やすくなります。最悪の場合は、できた血栓が脳の血管に飛んで脳梗塞を引き起こすことがあります。脳梗塞にもたくさんのタイプがありますが、とりわけ心房細動が原因の脳梗塞は重大な麻痺が残り、その後の生活に大きな支障が出てしまいます。心房細動を発症したときに、自覚症状(脈が乱れる、動悸、息苦しいなど)があればいいのですが、人によっては全く無症状の方もいます。気づいたときには脳梗塞を発症...という方も稀ではありません。

心房細動もそうですが、不整脈は心電図で診断できる病気です。特殊な検査ではなく、発見ができればお薬を使って予防も行えます。健康診断以外でもより健康な生活を送るため、また、ご自身の心臓の状態を確認するためにも、たまには心電図検査を受けてみてはどうでしょうか?



医師 井上 朋子

● ふれあい看護体験

平成29年7月25日(火)

今年度のふれあい看護体験に、中学生・高校生合わせて7名が参加してくれました。院内の見学では、多職種のスタッフがそれぞれの専門性を活かしながら、チームでケアを行っているところを紹介しました。食事介助や車椅子の体験では、声掛けの必要性を学ぶことができたと思います。参加したほとんどの学生が看護師を目指しており、「体験後に改めて看護師という職業に対して尊敬の念が増し、ぜひ自分もその現場に加わりたい。」という感想を頂きました。今後も有意義な看護体験ができるよう計画を立てていきたいと思っています。

